

第4次総合計画見直しに向けた市民周知・参画手法

総計作業部会	
資料7	R4.8.22

	市民参画手法 /実施時期	実施目的	実施方法
1	無作為抽出アンケート /令和4年9月	第4次総合計画に掲げた19の政策に対する市民の満足度・重要度、新しい課題の把握	市内に住む18歳以上の男女3,000人を無作為抽出。 アンケートのQRコードとURL、IDを記載したハガキを郵送し、アンケート専用サイトにて回答を受付。 19の政策に対する市民の満足度・重要度のほか、新型コロナウイルス感染症感染拡大等によって生じた生活の変化、SDGsの認知度などの設問を設定予定。 ※ペーパーレス化、コスト削減の観点から紙の調査票は送付しないが、それによりどの程度の回収率となるかの実証の意味も兼ねて実施。なお、希望者には紙の調査票を個別に送付予定。
2	出張アンケート /令和4年10～11月	無作為抽出アンケートでは声が拾いにくい世代（主に20～40代）からの意見把握	商業施設や市のイベントに出向き、20～40代の市民に対しアンケートを実施。短時間でアンケートに回答できるよう、無作為抽出アンケートの設問を一部に限定し、設定予定。4で作成の啓発動画も放映予定。
3	#2050すいたストーリー /令和4年9月～11月	25歳以下の若い世代から吹田市の将来についての意見聴取及び第4次総合計画見直しに向けた機運醸成	「#2050すいたストーリー」として、吹田市在住・在学の25歳以下の若者に対し、「あなたの思い描く2050年のすいた」を150字程度で募集し、Twitterや専用回答フォームで受付。受け付けた意見は計画内に紹介ページを設け記載予定。 プレ企画として、令和4年（2022年）6月に千里高校の生徒（約160名）を対象に、本市職員が総合計画に関する授業を実施。その一環として、「2032年/2050年のすいた」を思い描いた日記が提出される予定。
4	総合計画啓発動画 /令和4年10月	第4次総合計画の周知、及び見直しに関する市民理解、機運醸成	キャラクターを使用した親しみやすい動画を作成し、本市ホームページで公開（合わせて一定期間、2の簡易アンケートをインターネット上で実施予定）。 また、2の出張アンケート実施時に会場で放映することで、市民に立ち止まっていたくきかけとして利用予定。
5	市民公募委員 （総合計画審議会） /令和4年11月～	審議会への参画による市民意見の反映	第4次総合計画見直しに市民意見を反映するため、市民公募委員を募集し、4名を選考。
6	パブリックコメント /令和5年8月～9月	第4次総合計画見直し計画案に対し市民意見を反映	吹田市民の意見の提出に関する条例に基づき実施。
7	各分野別個別計画策定時の市民意見等の反映	第4次総合計画見直しへの市民意見の反映	各分野別計画の策定に際し行った市民アンケート等における市民意見等を分析し、第4次総合計画見直しに反映。

※政策会議では、市民参画の手法を市民シンポジウムとしていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況や、より多くの市民に第4次総合計画について周知し、ご意見を聴取する場として、シンポジウムに代わって、啓発動画の作成とそれを活用した出張アンケート/インターネット上での簡易アンケートとしました。